

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月28日

上場会社名 株式会社トーエネック

上場取引所 東 名

コード番号 1946 URL <http://www.toenec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 三浦 務

TEL 052-221-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	33,686	1.2	△982	—	△692	—	△508	—
21年3月期第1四半期	33,275	—	111	—	316	—	119	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△5.41	—
21年3月期第1四半期	1.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	163,851	78,567	48.0	836.40
21年3月期	170,660	78,789	46.2	838.68

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 78,567百万円 21年3月期 78,789百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	78,000	△1.9	600	△73.5	900	△67.0	400	△86.1	4.26
連結累計期間									
通期	172,000	△0.8	3,700	△35.4	4,300	△32.7	2,400	△49.2	25.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	96,649,954株	21年3月期	96,649,954株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,714,606株	21年3月期	2,705,784株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	93,938,343株	21年3月期第1四半期	94,008,639株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※ 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	76,000	△0.8	400	△80.2	600	△74.8	200	△92.3	2.13
通期	167,000	△0.9	3,300	△36.9	3,700	△36.9	1,900	△55.5	20.22

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の持ち直しを受けて、景気の底入れ感が強まりましたが、本格的な回復への力強さを欠いた状況でありました。

当業界におきましては、設備投資は企業収益の悪化を受け、製造業を中心に計画の見送りなどにより大幅な減少が続いており、加えて国・地方の財政状況を反映して官公庁工事は依然として低調であり、受注・価格競争激化が継続するなど、厳しい経営環境にありました。

このような状況下でありまして、当社グループは平成21年度を初年度とする新中期経営計画の、①収益向上を目指した受注戦略の推進 ②経営効率の向上 ③経営管理体制の強化 ④人材の育成強化など、持続的成長戦略の足固めの諸施策を推進いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

[連結業績]	売上高	33,686	百万円
	営業損失	982	百万円
	経常損失	692	百万円
	四半期純損失	508	百万円

売上高につきましては若干の増収となりましたが、利益面につきましては昨年後半からの厳しい受注・価格競争を反映し、主力の屋内線工事の採算性が低下したことなどにより、大幅な減益となりました。

なお、当社グループの業績の特性は、第2四半期及び第4四半期の売上高の割合が大きいのに対し、販売費及び一般管理費等の固定費は1年を通じて恒常的に発生することから、第1四半期及び第3四半期の売上高に対する費用負担が大きくなる傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は163,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,808百万円減少しました。これは受取手形・完成工事未収入金等の減少(10,038百万円)、未成工事支出金の増加(1,524百万円)などの要因によるものです。

負債につきましては、支払手形・工事未払金等の減少(7,316百万円)、未払費用の減少(1,620百万円)、未成工事受入金等の増加(2,426百万円)などの要因により、前連結会計年度末に比べ6,586百万円減少し、85,284百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少(978百万円)、評価・換算差額等の増加(760百万円)などにより、前連結会計年度末に比べ221百万円減少し、78,567百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ668百万円増加して26,526百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失716百万円、売上債権の減少9,827百万円、未成工事支出金の増加1,517百万円、仕入債務の減少6,428百万円、未成工事受入金の増加2,421百万円、法人税等の支払額1,529百万円などにより、1,512百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出3,087百万円、定期預金の払戻による収入8,222百万円、有価証券の取得による支出7,000百万円、有価証券の売却による収入2,450百万円などにより、49百万円の資金増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出417百万円、配当金の支払額426百万円などにより、912百万円の資金減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済動向につきましては、民需を中心とした景気回復の反転力は弱く、先行きが不透明な厳しい状況が続くと考えられます。

当業界におきましては、建設市場の縮小や受注・価格競争激化の継続は避けられず、一段とその厳しさは増すと思われまます。

こうした状況下にあります、当社グループは新中期経営計画（平成21年度から平成23年度まで）にもとづく諸施策を推進するとともに、受注の確保・拡大とコスト競争力の強化、利益の確保などの課題克服に向け総力を結集し取り組む所存であります。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想は以下のとおりであります。

[連結業績予想]	売上高	172,000	百万円
	営業利益	3,700	百万円
	経常利益	4,300	百万円
	当期純利益	2,400	百万円

なお、通期及び第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成21年4月28日に発表いたしました予想数値からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項なし。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項なし。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主に長期大型工事（工期12ヵ月以上、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）が適用されたことに伴い、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗度の見積りは主に原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、平成21年3月31日以前に着手した工事契約のうち、長期大型工事（工期12ヵ月以上、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を引き続き適用しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第1四半期連結累計期間に係る完成工事高は490百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が、それぞれ33百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	20,093	26,520
受取手形・完成工事未収入金等	29,639	39,678
有価証券	19,010	12,458
未成工事支出金	10,062	8,538
材料貯蔵品	2,362	1,907
商品	99	95
繰延税金資産	2,777	2,499
その他	2,139	2,086
貸倒引当金	△220	△317
流動資産合計	85,965	93,467
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	42,442	41,922
機械、運搬具及び工具器具備品	21,322	21,333
土地	25,255	25,264
建設仮勘定	318	94
減価償却累計額	△41,864	△41,228
有形固定資産合計	47,475	47,387
無形固定資産		
1,119	1,119	1,185
投資その他の資産		
投資有価証券	15,601	14,433
繰延税金資産	12,159	12,693
その他	2,887	2,794
貸倒引当金	△1,356	△1,300
投資その他の資産合計	29,292	28,619
固定資産合計	77,886	77,192
資産合計	163,851	170,660

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,522	35,838
短期借入金	4,385	4,553
未払費用	3,986	5,607
未払法人税等	105	1,658
未成工事受入金	4,587	2,161
その他	5,176	3,534
流動負債合計	46,764	53,353
固定負債		
長期借入金	394	210
退職給付引当金	32,734	33,000
役員退職慰労引当金	77	73
その他	5,314	5,233
固定負債合計	38,519	38,517
負債合計	85,284	91,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,680	7,680
資本剰余金	6,839	6,839
利益剰余金	62,762	63,740
自己株式	△1,267	△1,263
株主資本合計	76,015	76,997
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,798	1,169
繰延ヘッジ損益	677	538
為替換算調整勘定	77	84
評価・換算差額等合計	2,552	1,791
純資産合計	78,567	78,789
負債純資産合計	163,851	170,660

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	33,275	33,686
売上原価	28,948	30,470
売上総利益	4,327	3,216
販売費及び一般管理費	4,216	4,198
営業利益又は営業損失(△)	111	△982
営業外収益		
受取利息	59	56
受取配当金	76	46
受取地代家賃	48	47
持分法による投資利益	29	157
その他	69	65
営業外収益合計	284	373
営業外費用		
支払利息	32	75
為替差損	37	1
その他	9	6
営業外費用合計	79	83
経常利益又は経常損失(△)	316	△692
特別利益		
固定資産売却益	176	—
貸倒引当金戻入額	58	36
投資有価証券売却益	28	—
特別利益合計	262	36
特別損失		
固定資産除売却損	22	18
減損損失	125	8
貸倒引当金繰入額	—	1
投資有価証券評価損	8	31
特別損失合計	156	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	422	△716
法人税、住民税及び事業税	36	48
法人税等調整額	266	△256
法人税等合計	302	△207
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119	△508

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	422	△716
減価償却費	1,003	1,010
減損損失	125	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	△41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△296	△266
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△193	4
その他の引当金の増減額(△は減少)	7	—
受取利息及び受取配当金	△136	△103
支払利息	32	75
為替差損益(△は益)	0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	8	31
投資有価証券売却損益(△は益)	△28	—
持分法による投資損益(△は益)	△29	△157
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△153	18
売上債権の増減額(△は増加)	12,648	9,827
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△5,285	△1,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	42	△458
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,942	△6,428
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,572	2,421
未払消費税等の増減額(△は減少)	△797	503
その他	2,833	△1,170
小計	△257	3,042
法人税等の支払額	△2,888	△1,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,146	1,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,243	△3,087
定期預金の払戻による収入	243	8,222
有価証券の取得による支出	△7,500	△7,000
有価証券の売却による収入	—	2,450
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	58	0
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	11	12
有形固定資産の取得による支出	△694	△596
有形固定資産の売却による収入	204	0
利息及び配当金の受取額	146	111
その他	△132	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,909	49

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,077	39
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△1,740	△524
自己株式の取得による支出	△6	△4
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△0	△417
利息の支払額	△27	△79
配当金の支払額	△421	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118	△912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	19
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△16,220	668
現金及び現金同等物の期首残高	30,110	25,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,889	26,526

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし。

6. その他の情報

当社個別の経営成績、部門別受注高は次のとおりであります。

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	33,143	3.3	△1,011	—	△835	—	△620	—
21年3月期第1四半期	32,071	—	96	—	339	—	131	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△6.60	—
21年3月期第1四半期	1.40	—

(2) 部門別受注高(累計)

部 門 別		平成21年3月期 第1四半期実績	平成22年3月期 第1四半期実績	比較増減	増減率
		百万円 %	百万円 %	百万円	%
受 注 高	配電線工事	17,172 (38.8)	17,894 (48.3)	722	4.2
	地中線工事	1,431 (3.2)	1,592 (4.3)	160	11.2
	通信工事	3,821 (8.7)	4,374 (11.8)	553	14.5
	屋内線工事	18,329 (41.5)	10,576 (28.6)	△7,752	△42.3
	空調管工事	2,562 (5.8)	1,927 (5.2)	△635	△24.8
	計	43,316 (98.0)	36,365 (98.2)	△6,951	△16.0
	商品販売	896 (2.0)	659 (1.8)	△237	△26.5
	合計	44,213 (100.0)	37,024 (100.0)	△7,188	△16.3

(注) ()内のパーセント表示は、構成比率を示しております。